

地域からはじまる創薬と薬学教育

生薬と生物多様性、そして地域医療への展開

メインシンポジウム：2014年1月12日(日)

サテライトイベント：1月13日(祝)

ヒトは古来より様々な地域において、長年の暮らしの知恵に基づいた、植物や天然物由来の生薬・伝承薬の恩恵に浴してきました。しかしそれらの価値ある資源は経済大国による搾取対象になりかねず、近年は生物多様性保全の観点からも、国際間で容易に取引できない仕組みづくりが進んできました。今後は、生薬資源保有国と、研究開発知識および技術保有国との間で、互恵関係を調整・構築する必要があります。

一方、生物資源を供給している地方に目を向けてみると、多くの地域は過疎化や高齢化をはじめとする様々な問題を抱えており、特に、次世代地域医療の仕組み構築と担い手の育成は喫緊の課題です。

本シンポジウムでは、こうした課題に関わる6カ国の薬学研究教育者らが集い、地域を基盤にした新しい創薬研究と薬学教育の今後について、講演と討論を行います。

ホームページ:

<http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/faculty/labo/cmp/symposium2014.html>

問い合わせ先(事務局): 088-633-9630
薬学部 臨床薬学教育支援室 植村
uemura.ikuko@tokushima-u.ac.jp



サテライトイベントは、上勝町・福原ふれあいセンターと千年の森ふれあい館にて千年の森セミナーと合同開催(要参加予約)。

主会場: 徳島大学(蔵本)長井記念ホール

日時: 2014年1月12日 10時 - 18時

(どなたでもご参加頂けます。入場無料・予約不要)
(予約制託児サービスあり。詳しくは12/26までに事務局へ)

招待講演者:

Dr. Pulok Kumar Mukherjee

(インド・ジャダプール大学)

Dr. Subagus Wahyuono

(インドネシア・ガジャマダ大学)

Dr. Patrizia A. Restani

(イタリア・ミラノ大学)

Dr. Nico P.E. Vermeulen

(オランダ・アムステルダム自由大学)

Dr. Philip Rodgers

(アメリカ・ノースカロライナ大学)

Dr. Nilufar Z. Mamadalieva

(ウズベキスタン・科学アカデミー)

主催: 徳島大学パイロット事業支援プログラム
「天然資源アクセスのためのグローバルネットワーク構築とそれに基づく創薬研究への展開」
徳島大学概算事業(特別研究経費)
「臨床現場に直結した新しい薬学教育システム」

共催: 大学間連携共同教育推進事業
「四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革」
徳島大学 医療教育開発センター・地域創生センター
徳島県地域医療支援センター
かみかつ里山倶楽部(千年の森セミナー)
徳島県病院薬剤師会

後援: 在日イタリア大使館
日本薬学会中国四国支部

協賛: 徳島大学 AWA サポートセンター・薬学部 FD 委員会

単位付与対象:

日本薬剤師研修センター4単位認定
日本病院薬剤師会生涯学習3単位認定
徳島大学薬学部能動学習 (詳細はホームページ参照)